安全データシート

QuickGene DNA tissue kit S (DT-S)

品名	GHS分類	絵表示
Proteinase K EDT-01	皮膚刺激：1 呼吸器感作：1	
Lysis Buffer LDT-01	急性毒性：4 皮膚刺激：2 眼刺激：2	
Tissue Lysis Buffer MDT-01	眼刺激：2 特定臓器毒性(単回暴露)：2 特定臓器毒性(反復暴露)：2 水生環境有害(急性)：2	
Wash Buffer WDT-01		
Elution Buffer CDT-01		

倉敷紡績株式会社

バイオメディカル部

住所　〒572-0823
大阪府寝屋川市下木田町14-30
クラボウ先進技術センター　2F

電話　072-820-3079

FAX　072-820-3095

Revision: 2024-6-27

Date of compilation: 2019-2-13

作成日 2018/12/10
改訂日 2024/6/27

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称		Proteinase K
	製品コード	EDT-01
	SDS整理番号	EDT01_JP_2
会社名		倉敷紡績株式会社
	住所	〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-5 クラボウ寝屋川テクノセンター3F
	担当部門	環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部
	電話番号	072-820-3079
	FAX番号	072-820-3095
	緊急時連絡電話番号	バイオメディカル部 072-820-3079

推奨用途及び使用上の制限

製品の関連する特定用途：自動核酸分離システム用試薬
研究専用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分1
	呼吸器感作性	区分1

上記で区分の記載がない危険有害性はガイダンス文書で規定された[分類対象外]または[分類できない]に該当する。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語 危険

危険有害性情報
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ

注意書き

【安全対策】
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保護手袋を着用すること。
(換気が不十分な場合)呼吸用保護具を着用すること。

【応急措置】
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
汚染された衣類を脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。

【廃棄】
残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物

成分名	含有量(%)	CAS番号	化審法番号
プロテイナーゼK	>= 1 - < 10	39450-01-6	11-(4)-792

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

一般的アドバイス
危険域から避難させる。この安全データシートを担当医に見せる。
被災者を一人にしない。

吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。

皮膚に付着した場合	皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 損傷していない眼を保護する。洗浄中は眼を大きく開ける。 眼の刺激が続く場合：医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	気道を確保する。ミルクやアルコール飲料を与えない。 意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 症状が持続する場合は、医師に連絡する。 直ちに被災者を病院に連れて行く。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 吸入するとアレルギー，ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。
応急措置をする者の保護	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤	現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
使ってはならない消火剤	大型棒状の水
特有の危険有害性	情報無し
有害燃焼副産物	有害燃焼生成物は知られていない。
特有の消火方法	化学物質の火災に対する標準手順。 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
消火を行う者の保護	消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

	漏出時の処理を行う際には、適切な保護具（第8項参照）を着用すること。 十分な換気を確保する。
環境に対する注意事項	製品を排水施設に流してはならない。 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。
封じ込め及び浄化方法・機材	不活性の吸収材（砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず等）で吸収させる。 廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	**技術的対策**	「8.暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策、保護具を着用する。
	安全取扱い注意事項	エアゾールの発生を避けること。蒸気/粉塵を吸い込まない。 曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。 皮膚や眼への接触を避けること。 作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。 作業室の換気や排気を十分に行う。 洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。 皮膚感作性並びに喘息、アレルギー、慢性または反復性の呼吸器疾病を有する人は、この製剤を使用するすべての工程に従事しないことが望ましい。 「10.安定性及び反応性」の項 参照
	衛生対策	取扱う時に飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。作業衣を再使用する場合は洗濯すること。
保管	**安全な保管条件**	容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
	容器包装材料	密栓式の容器に入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分 CAS番号	指標（暴露形態）	管理濃度 / 許容濃度	出典
プロテイナーゼK 39450-01-6	IOEL	0.00006 mg/m3	Roche Industrial Hygiene Committee (RIHC)

設備対策		データなし
保護具	**呼吸器の保護具**	蒸気を形成する場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。
	手の保護具	適切な手袋を着用する。 防護手袋は、EU指令89/686/EECの仕様と、それから派生する規格EN374を満たす

ものを推奨する。

眼の保護具 眼の保護具を使用する。飛散のリスクがある場合はフェースシールドを着用する。

皮膚及び身体の保護具 不浸透性衣服
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

当該化学品および成分の物理化学的性質

物理的状態	形状	液体
	色	無色透明
臭い		極めて僅か
pH		7.5
融点・凝固点		情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		情報なし
引火点		情報なし
蒸発速度（酢酸ブチル＝１）		情報なし
可燃性（液体）		可燃性液体ではない。燃焼を持続しない。
蒸気圧		情報なし
蒸気密度（空気＝１）		情報なし
比重（密度）		情報なし
密度		1.126 g/cm3
溶解度（水）		完全に混和性である
溶解度（溶媒）		情報なし
n-オクタノール／水分配係数		情報なし
自然発火温度		情報なし
分解温度		情報なし
粘度（粘性率）		情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性および化学的安定性 通常の取扱い条件においては安定である。

危険有害反応可能性 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

避けるべき条件 データなし

混触危険物質 強塩基類/強酸化剤/硝酸/過酸化物

危険有害な分解生成物 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

11. 有害性情報

急性毒性		利用可能な情報に基づく限り分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		利用可能な情報に基づく限り分類できない。 製品: 備考: 皮膚に刺激/皮膚炎を起すことがある。 成分データ（プロテイナーゼK） 結果: 皮膚に刺激性。 備考: 皮膚に刺激/皮膚炎を起すことがある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		利用可能な情報に基づく限り分類できない。 製品: 備考: 蒸気は、目、呼吸器系および皮膚に刺激を与える可能性がある。 成分データ（プロテイナーゼK） 結果: 眼に刺激性。 備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。
感作性	呼吸器感作性	吸入するとアレルギー，ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。 成分データ（プロテイナーゼK） アセスメント: 皮膚に触れると感作を起すことがある。 備考: 感作を起こす。
	皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 成分データ（プロテイナーゼK） アセスメント: 吸入による感作発生の可能性。 備考: 感作を起こす。
生殖細胞変異原性		利用可能な情報に基づく限り分類できない。
発がん性		利用可能な情報に基づく限り分類できない。
生殖毒性		利用可能な情報に基づく限り分類できない。
標的臓器毒性(単回ばく露)		利用可能な情報に基づく限り分類できない。 成分データ（プロテイナーゼK） 備考: 呼吸器への刺激のおそれ。

標的臓器毒性(反復ばく露)	利用可能な情報に基づく限り分類できない。 成分データ(プロテイナーゼK) アセスメント: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。
吸引性呼吸器有害性	利用可能な情報に基づく限り分類できない。 成分データ(プロテイナーゼK) データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	土壌に吸着するとは考えられていない。
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動度	情報なし
オゾン層への有害性	非該当
他の有害影響	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
廃棄の際は、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合は、そこに委託して処理する。

汚染容器及び包装
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去し、再利用しないこと。
関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規則
- **国連分類**　該当しない
- **国連番号**　該当しない

国内規則

海上規制情報
- **船舶安全法**　該当しない

航空規制情報
- **航空法**　該当しない

陸上規制情報
- **消防法**　該当しない
- **毒物および劇物取締法**　該当しない

15. 適用法令

化審法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	該当しない
毒物および劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない
船舶安全法	危険物として規制されていない
航空法	危険物として規制されていない
海洋汚染防止法	海洋汚染物質には該当しない

16. その他の情報

参考文献、URL

1) Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, (4th., 2011), UN
2) JIS Z7250:2005
3) NITE　GHS分類データ
4) NITE CHRIP (http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/SystemTop_jp.faces)

改訂履歴
2018年12月10日作成
2024年6月27日改訂

記載内容の問合せ先
倉敷紡績株式会社　環境メカトロニクス事業部　バイオメディカル部

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

作成日 2018/12/12
改訂日 2024/6/27

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Lysis Buffer
製品コード	LDT-01
SDS整理番号	LDT01_JP_2
会社名	倉敷紡績株式会社
住所	〒572-0823　大阪府寝屋川市下木田町14-5　クラボウ寝屋川テクノセンター3F
担当部門	環境メカトロニクス事業部　バイオメディカル部
電話番号	072-820-3079
FAX番号	072-820-3095
緊急時連絡電話番号	バイオメディカル部 072-820-3079

推奨用途及び使用上の制限

製品の関連する特定用途:自動核酸分離システム用試薬
研究専用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分4
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2

上記で区分の記載がない危険有害性はガイダンス文書で規定された[分類対象外]または[分類できない]に該当する。

GHSラベル要素

注意喚起語　警告

危険有害性情報
飲み込むと有害（経口）。（区分4）
皮膚刺激。（区分2）
強い眼刺激。（区分2）

注意書き

【安全対策】
取り扱い後は手をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

【応急措置】
皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合:気分が悪い時は医師に連絡すること。
口をすすぐこと。

【廃棄】
内容物/容器を現地/地域/国/国際法律に従って処理する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分　混合物

成分名	含有量(%)	CAS番号	化審法番号
グアニジン塩酸塩	40-60	50-01-1	1-215
ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル	10-20	-	-
アミノアルコール類の塩酸塩	1-5	-	-
水	Balance	7732-18-5	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服を脱ぐ。石けんと多量の水で洗い流す。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。不快感が続く場合は医師の診察を受けること。
応急措置をする者の保護	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤	初期消火には炭酸ガス、粉末消火剤、泡消火器等を使用する。
使ってはならない消火剤	なし
特有の消火方法	消火作業は、可能な限り風上から行う。漏出した物質や消火用水等が河川等に排出されないように配慮する。関係者以外は速やかに安全な場所に退去させる。
消火を行う者の保護	消火作業では、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

作業の際には適切な保護具を着用する。（「8. 暴露防止及び保護措置」の項 参照 ）

環境に対する注意事項	薬品が河川等に排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材	漏洩した薬品を適切な方法で回収したのち、漏洩箇所を大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	**技術的対策**	皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。取り扱った後、手を洗うこと。
	局所排気・全体換気	適切な換気がされている場合のみ使用する。
	注意事項	「8. 暴露防止及び保護措置」の項 参照
	安全取扱い注意事項	「10. 安定性及び反応性」の項 参照
保管	**適切な保管条件**	日光から遮断すること。容器を密栓しておくこと。
	安全な容器包装材料	十分な強度を有するプラスチック容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策		換気を十分に行う。近くに水道および洗眼設備を設置する。
保護具	**呼吸器の保護具**	適切な呼吸用保護具を着用する。
	手の保護具	適切な手袋を着用する。
	眼の保護具	眼の保護具を使用する。飛散のリスクがある場合はフェースシールドを着用する。
	皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。
適切な衛生対策		使用中は飲食や喫煙をしない。眼に入らないようにする。皮膚に触れないようにする。 飲食物から遠ざける。適切な産業衛生および安全対策のもとに取り扱う。

9. 物理的及び化学的性質

当該化学品および成分の物理化学的性質

物理的状態	形状	液体
	色	無色ないし淡黄色
臭い		ほぼ無臭
pH		約6
融点・凝固点		情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		情報なし
引火点		引火性はない
自然発火温度		可燃性はない
蒸気圧		情報なし
蒸気密度（空気＝1）		情報なし
比重（密度）		情報なし
溶解度(水)		易溶
n-オクタノール・水分配係数		情報なし
分解温度		情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性および化学的安定性	通常の取扱い条件においては安定である。

危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	凍結。直射日光を避ける。
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、炭酸ガス、窒素酸化物(NOx)

11. 有害性情報

急性毒性	区分4	急性 経口 LD50 ラット: > 500 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	区分2	強度の刺激
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2	軽度の刺激性
発がん性	IARC（国際がん研究機関）のランク[1;2A;2B]物質の有無: 該当物質なし	

12. 環境影響情報

混合物としての環境影響情報

生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動度	情報なし
他の有害影響	情報なし

13. 廃棄上の注意

自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)
を添えて、処理を委託する。廃棄時に該当する法規【廃棄物処理法：産業廃棄物（廃酸）、水質汚濁防止法：生活環境項目、下水道法：下水の排除の制限】

14. 輸送上の注意

国際規則

国連分類	該当しない
国連番号	該当しない

国内規制

海上規制情報

船舶安全法	該当しない

航空規制情報

航空法	該当しない

陸上規制情報

消防法	該当しない
毒物および劇物取締法	該当しない

15. 適用法令

化審法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	該当しない
毒物および劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない

16. その他の情報

参考文献、URL

1) Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, (4th., 2011), UN
2) JIS Z 7252：2014およびJIS Z 7253：2012
3) NITE　GHS分類データ
4) NITE CHRIP (http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/SystemTop_jp.faces)

改訂履歴	2018年12月12日作成 2024年6月27日改訂
記載内容の問合せ先	倉敷紡績株式会社　環境メカトロニクス事業部　バイオメディカル部

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

作成日 2018/12/12
改訂日 2024/6/27

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Tissue Lysis Buffer
製品コード	MDT-01
SDS整理番号	MDT01_JP_2
会社名	倉敷紡績株式会社
住所	〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-30 クラボウ先進技術センター2F
担当部門	環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部
電話番号	072-820-3079
FAX番号	072-820-3095
緊急時連絡電話番号	バイオメディカル部 072-820-3079

推奨用途及び使用上の制限

製品の関連する特定用途:自動核酸分離システム用試薬
研究専用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(中枢神経系)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(腎臓)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分2

(注) 記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

注意喚起語 警告

危険有害性情報

強い眼刺激
臓器の障害のおそれ(中枢神経系)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(腎臓)
水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】
環境への放出を避けること。
ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

【応急措置】
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は
外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

【貯蔵】
施錠して保管すること。

【廃棄】
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物

成分名	含有量(%)	CAS番号	化審法番号
水	90-100	7732-18-5	-
エチレンジアミン四酢酸	1-10	60-00-4	2-1263
ラウリル硫酸ナトリウム	1-10	151-21-3	2-1679

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。
この成分表に記載なき成分は、日本政府によるGHS分類結果一覧に収載されていません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分
エチレンジアミン四酢酸(令和7年4月1日施行)，ラウリル硫酸ナトリウム(令和7年4月1日施行)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分
エチレンジアミン四酢酸(令和7年4月1日施行)，ラウリル硫酸ナトリウム(令和7年4月1日施行)

化管法「第1種指定化学物質」該当成分
エチレンジアミン四酢酸，ラウリル硫酸ナトリウム

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合	皮膚に付着した場合：多量の水／適切な薬剤で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状	徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
医師に対する特別な注意事項	医師に対する特別な注意事項に関する情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤	周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	使ってはならない消火剤データなし
特有の危険有害性	特有の危険有害性データなし

消火を行う者への勧告

特有の消火方法	関係者以外は安全な場所に退去させる。 消火作業は、可能な限り風上から行う。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外は近づけない。 回収が終わるまで充分な換気を行う。 適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。 下水、排水中に流してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。 多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。 回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い　**技術的対策**

取扱者のばく露防止	ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
局所排気、全体換気	排気／換気設備を設ける。
注意事項	皮膚に触れないようにする。 眼に入らないようにする。
安全取扱注意事項	屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 保護眼鏡／保護面を着用すること。 指定された個人用保護具を使用すること。
接触回避	データなし
衛生対策	眼、皮膚、衣類につけないこと。 取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

		取扱い後はよく手を洗う。
保管	**安全な保管条件**	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 涼しいところに置き、日光から遮断すること。 施錠して保管すること。
	安全な容器包装材料	データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標	**管理濃度**	データなし
	許容濃度	日本産衛学会の許容濃度：データなし ACGIH 許容濃度：データなし
ばく露防止	**設備対策**	排気/換気設備を設ける。 洗眼設備を設ける。 手洗い/洗顔設備を設ける。
	保護具	
	呼吸用保護具	換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
	手の保護具	保護手袋を着用する。推奨材質：非浸透性もしくは耐化学品ゴム
	眼の保護具	側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
	皮膚及び身体の保護具	保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態	形状	液体
	色	無色透明
臭い		無臭
臭いの閾値		データなし
pH		約8.4
融点/凝固点		データなし
沸点または初留点および沸騰範囲		データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)		燃焼しない
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界		適用外
引火点		適用外
自然発火点		適用外
分解温度		データなし
動粘性率		データなし
溶解度	水に対する溶解度	混和する
	溶媒に対する溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び/又は相対密度		データなし
相対ガス密度(空気=1)		データなし
粒子特性		適用外

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性	**経口**	[製品]	データ不足のため、分類できない。
		[成分データ]	[日本公表根拠データ] (エチレンジアミン四酢酸) rat LD50 > 2000mg/kg (EU-RAR 49, 2004) (ラウリル硫酸ナトリウム) rat LD50=1200mg/kg (SIDS, 2009)
	経皮	[製品]	データ不足のため、分類できない。
		[成分データ]	[日本公表根拠データ] (ラウリル硫酸ナトリウム) rabbit LD50=ca. 200mg/kg (SIDS, 2009)
	吸入	[製品]	データ不足のため、分類できない。

		[成分データ]	データなし
局所効果	**皮膚腐食性/刺激性**	[製品] [成分データ]	データ不足のため、分類できない。 [日本公表根拠データ] (ラウリル硫酸ナトリウム) ラビット 中等度から強度の刺激性 (SIDS, 2009)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		[製品] [成分データ]	区分2, 強い眼刺激 [日本公表根拠データ] (エチレンジアミン四酢酸) ラビット 8日後に症状消失 (EU-RAR 49, 2004) (ラウリル硫酸ナトリウム) ラビット 非可逆的な影響 (SIDS, 2009)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	**呼吸器感作性**	[製品] [成分データ]	データ不足のため、分類できない。 データなし
	皮膚感作性	[製品] [成分データ]	データ不足のため、分類できない。 データなし
生殖細胞変異原性		[製品] [成分データ]	データ不足のため、分類できない。 データなし
発がん性		[製品] [成分データ]	データ不足のため、分類できない。 データなし
生殖毒性		[製品] [成分データ]	データ不足のため、分類できない。 [日本公表根拠データ] (エチレンジアミン四酢酸) cat. 2; Teratogenic 12th, 2007
特定標的臓器毒性	**単回ばく露**	[製品] [成分データ] [区分1]	区分2, 臓器の障害のおそれ [日本公表根拠データ] (ラウリル硫酸ナトリウム) 中枢神経系 (SIDS, 2009)
	反復ばく露	[製品] [成分データ] [区分1] [区分2]	区分2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ [日本公表根拠データ] (エチレンジアミン四酢酸) 腎臓 (NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14 , 2007) [日本公表根拠データ] (ラウリル硫酸ナトリウム) 肝臓 (EHC 169, 1996)
誤えん有害性		[製品] [成分データ]	データ不足のため、分類できない。 データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性	[製品] [成分データ] 水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性)	区分2, 水生生物に毒性 [日本公表根拠データ] (エチレンジアミン四酢酸) 魚類 (ブルーギル) LC50=41mg/L/96hr (EU-RAR, 2005) (ラウリル硫酸ナトリウム) 甲殻類 (アカルチア) EC50/LC50 =0.12mg/L/96hr (SIDS, 2009) [日本公表根拠データ] (ラウリル硫酸ナトリウム) 甲殻類 (ネコゼミジンコ) NOEC (繁殖)=0.88mg/L/7days (SIDS, 2009)
水溶解度		(エチレンジアミン四酢酸) 非常に溶けにくい (0.05 g/100 ml, 20℃) (ICSC, 2008) (ラウリル硫酸ナトリウム) 溶ける (15 g/100 ml, 20℃ (ICSC, 1997))
残留性・分解性	[成分データ]	(エチレンジアミン四酢酸) BODによる分解度：0% (既存点検) (ラウリル硫酸ナトリウム) 急速分解性あり (BOD分解度= 85.0%/14 days; TOC分解度=99.3%/14 days (J-CHECK 2016))
生体蓄積性	[成分データ]	(エチレンジアミン四酢酸) BCF=123 (Check & Review, Japan) (ラウリル硫酸ナトリウム) log Kow = 1.6 (PHYSPROP DB, 2008)
土壌中の移動性	土壌中の移動性データなし	
他の有害影響	オゾン層への有害性データなし	

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法 環境への放出を避けること。

	内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。 承認された廃棄物集積場で処理する。 下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。
汚染容器及び包装	内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号	該当しない
正式輸送名	該当しない
分類または区分	該当しない
容器等級	該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号	該当しない
正式輸送名	該当しない
分類または区分	該当しない
容器等級	該当しない

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号	該当しない
正式輸送名	該当しない
分類または区分	該当しない
容器等級	該当しない

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当)	非該当

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される有害液体物質に該当しない。

MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物および劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	
特化則	該当しない
有機則	該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物	
名称表示危険/有害物	エチレンジアミン四酢酸(別表第9,令和7年4月1日施行); ラウリル硫酸ナトリウム(別表第9,令和7年4月1日施行)
名称通知危険/有害物	エチレンジアミン四酢酸(別表第9,令和7年4月1日施行); ラウリル硫酸ナトリウム(別表第9,令和7年4月1日施行)
化学物質管理促進(PRTR)法	
第1種指定化学物質	ドデシル硫酸ナトリウム(2.5%)[ラウリル硫酸ナトリウム(2.5%)(管理番号275)]; エチレンジアミン四酢酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム塩(2.9%) [エチレンジアミン四酢酸(2.9%)(管理番号595)]
消防法	該当しない
化審法	
優先評価化学物質	エチレンジアミン四酢酸(政令番号36 人健康影響/生態影響); ラウリル硫酸ナトリウム(政令番号214 生態影響)
大気汚染防止法	
有害大気汚染物質	エチレンジアミン四酢酸(中環審第9次答申の28)

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

改訂履歴	2018年12月12日作成 2024年6月27日改訂
記載内容の問合せ先	倉敷紡績株式会社　環境メカトロニクス事業部　バイオメディカル部

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和3年度（2021年度））です。

作成日 2019/2/13
改訂日 2024/6/27

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Wash Buffer
製品コード WDT-01
SDS整理番号 WDT01_JP_2

会社名 倉敷紡績株式会社
住所 〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-5 クラボウ寝屋川テクノセンター3F
担当部門 環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部
電話番号 072-820-3079
FAX番号 072-820-3095
緊急時連絡電話番号 バイオメディカル部
072-820-3079

推奨用途及び使用上の制限
製品の関連する特定用途：自動核酸分離システム用試薬
研究専用

2. 危険有害性の要約

GHS分類
GHS分類区分に該当せず

GHSラベル要素
絵表示又はシンボル なし
注意喚起語 なし

危険有害性情報 なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物

成分名	含有量(%)	CAS番号	化審法番号
塩化ナトリウム	0.5-1.5	7647-14-5	1-236
水	Balance	7732-18-5	—

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。原則として1％以上含有する成分を記載しています。

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の手当てを受ける。
眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合 不快感が続く場合は医師の診察を受けること。
応急措置をする者の保護 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤 初期消火には炭酸ガス、粉末消火剤、泡消火器等を使用する。
使ってはならない消火剤 なし
特有の消火方法 消火作業は、可能な限り風上から行う。漏出した物質や消火用水等が河川等に排出されないように配慮する。関係者以外は速やかに安全な場所に退去させる。
消火を行う者の保護 消火作業では、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置
漏出時の処理を行う際には、適切な保護具（第8項参照）を着用すること。
環境に対する注意事項 薬品が河川等に排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材 ウエス、雑巾でできるだけ回収し、こぼした所を完全に拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	**技術的対策**	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、適切な保護具を着用すること。
	局所排気・全体換気	適切な換気がされている場合のみ使用する
	安全取扱い注意事項	「10. 安定性及び反応性」の項参照。
	衛生対策	取扱う時に飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	**安全な保管条件**	日光から遮断すること。容器を密栓しておくこと。
	容器包装材料	ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策		換気を十分に行う。近くに水道および洗眼設備を設置する。
保護具	**呼吸器の保護具**	適切な呼吸用保護具を着用する。
	手の保護具	適切な手袋を着用する。
	眼の保護具	眼の保護具を使用する。飛散のリスクがある場合はフェースシールドを着用する。
	皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

当該化学品および成分の物理化学的性質

物理的状態	形状	液体
	色	無色透明
臭い		無臭
pH		7.5
融点・凝固点		情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		情報なし
引火点		適用外(不燃性液体)
蒸発速度(酢酸ブチル＝1)		情報なし
燃焼性(固体、ガス)		情報なし
蒸気圧		情報なし
蒸気密度(空気＝1)		情報なし
比重(密度)		情報なし
溶解度(水)		易溶
n-オクタノール・水分配係数		情報なし
自然発火温度		情報なし
分解温度		情報なし
粘度(粘性率)		水と同等

10. 安定性及び反応性

反応性および化学的安定性	通常の取扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	凍結。直射日光を避ける。
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、炭酸ガス、窒素酸化物(NOx)

11. 有害性情報

急性毒性	経口	LD50 ラット：>2000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		無刺激
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		刺激性なし
発がん性		IARC(国際がん研究機構)のランク[1;2A;2B]の物質の有無： 該当物質なし

12. 環境影響情報

混合物としての環境影響情報

生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動度	情報なし
他の有害影響	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の際は、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規則

国連分類	該当しない
国連番号	該当しない

国内規制

海上規制情報

船舶安全法	該当しない

航空規制情報

航空法	該当しない

陸上規制情報

消防法	該当しない
毒物および劇物取締法	該当しない

15. 適用法令

化審法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	該当しない
毒物および劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない

16. その他の情報

参考文献、URL

1) Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, (4th., 2011), UN
2) JIS Z 7252：2014およびJIS Z 7253：2012
3) NITE　GHS分類データ
4) NITE CHRIP (http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/SystemTop_jp.faces)

改訂履歴	2019年2月13日作成 2024年6月27日改訂
記載内容の問合せ先	倉敷紡績株式会社　環境メカトロニクス事業部　バイオメディカル部

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

作成日 2018/12/7
改訂日 2024/6/27

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Elution Buffer
製品コード CDT-01
SDS整理番号 CDT01_JP_2

会社名 倉敷紡績株式会社
住所 〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-5 クラボウ寝屋川テクノセンター3F
担当部門 環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部
電話番号 072-820-3079
FAX番号 072-820-3095
緊急時連絡電話番号 バイオメディカル部
072-820-3079

推奨用途及び使用上の制限
製品の関連する特定用途：自動核酸分離システム用試薬
研究専用

2. 危険有害性の要約

GHS分類
GHS分類区分に該当せず

GHSラベル要素
絵表示又はシンボル なし
注意喚起語 なし

危険有害性情報 なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物

成分名	含有量(%)	CAS番号	化審法番号
水	80-100	7732-18-5	—

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の手当てを受ける。
眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合 不快感が続く場合は医師の診察を受けること。
応急措置をする者の保護 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤 初期消火には炭酸ガス、粉末消火剤、泡消火器等を使用する。
使ってはならない消火剤 なし
特有の消火方法 消火作業は、可能な限り風上から行う。漏出した物質や消火用水等が河川等に排出されないように配慮する。関係者以外は速やかに安全な場所に退去させる。
消火を行う者の保護 消火作業では、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置
漏出時の処理を行う際には、適切な保護具（第8項参照）を着用すること。
環境に対する注意事項 薬品が河川等に排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材 ウエス、雑巾でできるだけ回収し、こぼした所を完全に拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	**技術的対策**	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、適切な保護具を着用すること。
	局所排気・全体換気	適切な換気がされている場合のみ使用する。
	安全取扱い注意事項	「10. 安定性及び反応性」の項参照。
	衛生対策	取扱う時に飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	**安全な保管条件**	日光から遮断すること。容器を密栓しておくこと。
	容器包装材料	ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策		換気を十分に行う。近くに水道および洗眼設備を設置する。
保護具	**呼吸器の保護具**	適切な呼吸用保護具を着用する。
	手の保護具	適切な手袋を着用する。
	眼の保護具	眼の保護具を使用する。飛散のリスクがある場合はフェースシールドを着用する。
	皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

当該化学品および成分の物理化学的性質

物理的状態	形状	液体
	色	無色透明
臭い		無臭
pH		9
融点・凝固点		情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		情報なし
引火点		適用外(不燃性液体)
蒸発速度(酢酸ブチル＝1)		情報なし
燃焼性(固体、ガス)		情報なし
蒸気圧		情報なし
蒸気密度(空気＝1)		情報なし
比重(密度)		情報なし
溶解度(水)		易溶
n-オクタノール・水分配係数		情報なし
自然発火温度		情報なし
分解温度		情報なし
粘度(粘性率)		水と同等

10. 安定性及び反応性

反応性および化学的安定性	通常の取扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	凍結。直射日光を避ける。
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、炭酸ガス、窒素酸化物(NOx)

11. 有害性情報

急性毒性	経口	LD50 ラット：>2000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		刺激性なし
発がん性		IARC(国際がん研究機構)のランク[1;2A;2B]の物質の有無： 該当物質なし

12. 環境影響情報

混合物としての環境影響情報

生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動度	情報なし
他の有害影響	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の際は、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規則

国連分類	該当しない
国連番号	該当しない

国内規制

海上規制情報

船舶安全法	該当しない

航空規制情報

航空法	該当しない

陸上規制情報

消防法	該当しない
毒物および劇物取締法	該当しない

15. 適用法令

化審法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	該当しない
毒物および劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない

16. その他の情報

参考文献、URL

1) Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, (4th., 2011), UN
2) JIS Z 7252：2014およびJIS Z 7253：2012
3) NITE　GHS分類データ
4) NITE CHRIP (http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/SystemTop_jp.faces)

改訂履歴	2018年12月7日作成 2024年6月27日改訂
記載内容の問合せ先	倉敷紡績株式会社　環境メカトロニクス事業部　バイオメディカル部

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。